

がん医療の拠点として 地域に貢献

昭和19年7月の開設以来、地域医療の中心的役割を担ってきた市立長浜病院。平成8年5月には現在の大成亥町に移転開院し、施設整備面での充実を図りました。近年は診療体制の強化や病院の機能改革などに取り組みとともに、がん治療については湖北地域の拠点病院として、啓発や人材育成、医療水準の向上に努めています。

専門スタッフをそろえて 質の高い医療を提供

市立長浜病院は平成17年1月、厚生労働省により「地域がん診療連携拠点病院」の指定を受けました。地域がん診療連携拠点病院とは、専門的ながん医療の提供に加え、地域においてがん治療の連携協力体制を構築し、その拠点となるべき病院をいいます。

がん対策推進室管理監で、がん治療認定医の伏木雅人医師が「私が着任した平成13年より前から、当院では積極的にがん治療を進め

ている先生が多くいました」と語るように、市立長浜病院では指定以前からがん治療に取り組んでい



がん対策推進室管理監・放射線治療センター長の伏木雅人医師

ます。伏木医師は、高精度放射線治療を滋賀県内で早くから行ってきた放射線治療専門医。高齢化に伴って、がん治療には身体に負担が少ない放射線治療が注目されています。なかでも高精度放射線治療は正常組織の損傷を抑え、腫瘍には効果的に作用するという有用性の高い治療です。

がん治療には手術、放射線、化学（抗がん剤）の3つの療法がありますが、市立長浜病院は県内有数の手術療法の実績を誇ります。がん対策推進室長を務める呼吸器外科の田久保康隆医師は「当院では各

種のがん手術に対して、治療効果が高く、身体への負担も小さい内視鏡を主に用いています。肺がん手術では9割以上を占めます」と話します。



呼吸器外科責任部長・がん対策推進室長の田久保康隆医師

近年、医療は著しい進化を遂げており、専門医だけでなく、看護にも高度化・専門化が求められてきました。ここに登場したのが看護師の専門・認定資格制度です。認定看護師になるには指定の教育機関で6カ月以上、専門看護師になるには看護系大学院で2年以上学ばなければなりません。市立長浜病院にはがん治療に貢献したいという意欲や意識の高い看護師が多く、病院も資格の取得に向けたサポート体制を整えています。現在、がん看護専門看護師をはじめ、緩和ケア認定看護師、がん性疼痛看護認定看護師、がん放射線治療看護認定看護師などの資格取得者がそろっています。

看護師で認定がん専門相談員の新川君代さんによれば、もともと多い相談が、がんになったらどうしようという不安で、次に治療内容、副作用と続くそうです。「治療による脱毛などのヘアランス（外見）ケアにも対応していて、昨年度は230件を超える脱毛相談がありました。また、社会福祉士も配属されており、生活する上でのお困りごとや、就労に関する相談なども対応しています」

がん治療の柱のひとつとして、重要視されているのが「緩和ケア」です。がん患者とその家族に対して、身体的・精神的な苦痛をやわらげる全人的な援助を指します。緩和ケアはがんが見つかったときから始まります。がんを診断されて落ち込んでしまう人など、初期の段階から寄り添うことを心掛けています。

市立長浜病院では医師、歯科医師、看護師、薬剤師、臨床心理士、理学療法士、事務職員などがチームを組んで、緩和ケアに当たっています。「緩和ケアについては、すべての医療従事者が携わって

こうというところで、院内での情報共有や研修を推進しています」とがん看護専門看護師の山岸美紀さん。さらに、切れ目のないがん治療、緩和ケアを推進するため、地域のかかりつけ医との連携にも力を注いでいます。

定期的に検診を受けて 早期発見・早期治療を

日本人の死亡原因の第1位は男女ともがんです。長浜市を見てみると、男性は肺がん、女性は胃がんの死亡が全国平均を上回っています。田久保医師によると、ここ20年くらいで20〜40代の女性の肺がんが増えているそうです。

「男性は3人に2人、女性は2人に1人ががんを経験するといわれています。がんは症状が出ないうちに見つけるのが大切です。それは検診しかありません」と伏木医師は検診の重要性を呼びかけます。

早期発見・早期治療によって、大半のがんが治る現代。そんななか、長浜市のがん検診受診率は非常に低く、市が検診の案内を送付したうちの3割にも満たないといえます。費用を市が助成しており、負担も低くなっています。がんを診断されるのが怖いという人には、がん相談支援センターが相談に乗ってくれます。市では12月まで集団検診を実施していますので、自身や家族のためにもがん検診に出かけましょう。



肺がん手術では、早期退院が可能な胸腔鏡手術を主にしています



高精度な放射線治療装置により、効果的ながん治療を実現しています



外来化学療法センターでは、抗がん剤治療などの化学療法を、外来で通院しながら受けられます



「がん相談支援センター」では、がんに関する相談にがん専門相談員が対応します



昨年のがんフォーラム「がんと共に生きる」をテーマに開催。今年は徳永進医師の講演を予定しています

湖北がんフォーラム2017

テーマ／みんなで支える湖北の医療
日時／7月23日(日)13:30~16:30
(受付は13:00から)
会場／長浜文化芸術会館ホール
(長浜市大島町37)
内容／第1部…シンポジウム、
第2部…講演「生活の中の死」
定員／300人
参加費／無料

問い合わせ
電話 0749-68-2300
(市立長浜病院がん対策推進室)

市立長浜病院

長浜市大成亥町313
電話0749-68-2300
http://www.nagahama-hp.jp/

がん相談支援センター
(患者総合支援センター内)
受付時間／平日8:30~17:15
相談方法／対面相談のほか、
電話・メール相談も可能
(時間外は留守番電話で対応)
電話 0749-68-2354(直通)
メールsoudan@nagahama-hp.jp

